

まちの話題

SHIMOTSUKE CITY
TOPIX

稲見 タイさん 百歳おめでとございます

12月5日(金)、百歳の誕生日を迎えた稲見タイさん(下古山)を広瀬市長が訪れ、祝詞とお祝いを手渡しました。誕生日当日にあたる5日の朝は、家族のためにお茶を入れたそうで、日ごろから近所を散歩したり草むしりをするなどして元気に過ごしているそうです。

明治41年生まれのタイさんとは100歳差の彩芽(あやめ)ちゃん、98歳差の来春(こはる)ちゃんの2人のやしやごに囲まれてのお祝いでご家族皆さんの笑顔もひとときわ輝いていました。

これからもお元気で過ごしてください。



犯罪のない街を目指して 防犯防火診断実施

12月1日(月)夜、地域の防犯防火意識を高めるために、防犯防火診断が実施されました。

この日は、市3役・下野警察署・下野市消防団幹部が、自治医大駅周辺を巡回し、防犯と防火を呼びかけました。また、市内全域で消防団によるパトロールが併せて行われました。



自治医大駅周辺を巡回する
広瀬市長・警察署長・消防団長

農地・水・環境保全向上対策活動組織の活動瓦版



発表する「ホタル・カワセミの会」
大橋会長

12月11日(木)、宇都宮市総合コミュニティセンターで開催された農村環境技術研修会において、柴地区環境保全会の事例発表が行われました。この研修会は、(社)農村環境整備センターが主催、農村自然再生活動に携わる職員や活動組織を対象として、今回栃木県を会場に開催し、全国より約100名の方が参加されました。

柴地区環境保全会では、この農村自然再生活動の先進的な事例として農地・水・環境保全向上対策の地域における共同活動の様子、カワセミの巣箱の設置、管理を含めた保全活動や写真展等の啓発活動、ゲンジボタルの育成、放流、観察会、学習会を通じた地域住民との交流活動の様子などの紹介を早瀬会長及び構成団体である「ホタル・カワセミの会」大橋会長両名が行いました。また、今後の課題としてホタルの自然発生を目指した飼育、放流活動を継続していくことやカワセミの餌場の整備が必要であり、このような保全活動を通じ、地域の良さを住民に知ってもらうこと、興味をもってもらうことが大切との発表がありました。